

## 第8学年 英語科学習指導略案

日 時 6月7日(水) 第5校時  
 対 象 8年2組 基礎クラス14名  
 場 所 英語学習教室 西校舎3階  
 指導者 教諭 叶谷 将樹

### 1 単元名 「 Here we Go 2 Let's Read1 Such's White Horse 」

### 2 単元のねらい

- ・物語からいつどのような出来事が起こったのか読み取り理解することができる。
- ・読み取った物語の内容をグループで整理し、自分たちでリテリング活動を行うことができる。

### 3 単元計画 (全6時間)

時	学習活動(概要)	エデュスクラムの活用
1	物語の内容を推測しあらすじをつかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッドシートを活用して作業の進捗を共有できる工夫をする。</li> <li>・リテリングを行うに当たって事前に教科書の内容を細部まで指導する。</li> <li>・完成の定義としてリテリングの見本をあらかじめいくつか用意して生徒に提示する。</li> </ul>
2	物語の詳細を理解する。(前半部分)	
3	物語の詳細を理解する。(後半部分)	
4	音読練習・グループミーティング第1回	
5(本時)	グループでリテリングの準備	
6	リテリングの発表・振り返り	

### 4 自律的、協働的な学びを充実させるための手だて

#### ○ねらいや学習活動

本単元は小学校の国語でも学習しているスーホの白い馬の英訳を読解するという内容である。生徒も取り組みやすい内容であり、既に概要を理解している生徒も多くいる。その点も生かし、英語での言い換え活動であるリテリングをグループで行い、英語の運用能力を高めることを目指す。

#### ○アイテムやフリップ、完成の定義

基本的には教科書の内容を活用して作業を進めていく。あらかじめ生徒にリテリング活動について伝え、その模範となる手本を見せて理解させる。完成の定義は「この物語を読んだことがない人にも伝わる内容にする。」ということである。

#### ○ブック

リテリングにおける重要事項を理解することができるようにする。またよく使う表現も掲載し、実際に運用することができるようにしていく。

#### ○手だて

フリップやブック以外の手だてとして、グループ全体で作業の進捗を確認するために授業の冒頭と最後にミーティングを行う。最初から英文を作成していくのは難しいことも多いので日本語で内容をまとめてから英文の作成を行う。フリップ兼作業用のスプレッドシートにリテリングの英文も記入し、先生に確認してもらいたい内容をまとめさせ、教員が次の授業までに回答しフィードバックを行う。

5 本時 (5 / 6)

(1) 本時のねらい

○リテリングに向けて英文を完成させ、発表の準備を行う。

(2) 本時の展開 (6時間扱い5時間目)

学習内容	予想される児童生徒の反応	支援 ■ 評価 ◎
<p>1 前時までの作業を班で確認し、本時での作業を確認する。</p>	<p>・前回までに〇〇まで終わったから今日はここから作業を進めよう。</p>	<p>■教員から全体に向けて前時までの内容のフィードバックを簡単にする。</p>
<p>英文を完成させ、発表に向けての練習をしよう！</p>		
<p>2 各グループで作業。</p> <p>3 グループ内で発表での役割を決定し、発表に向けての練習を行う。</p>	<p>・この英文は先生に直してもらったからここを直していこう。</p> <p>・英文ができたから練習しよう。</p> <p>・担当は〇〇さんが～、〇〇さんが～でいいかな。</p>	<p>■発表に向けて英文が完成していない班は本時の中で完成させることができるようにフォローする。</p>
<p>4 本時で行った作業内容を確認し次回の発表に向けてグループ毎に最終確認をする。</p>	<p>・みんなで自分の担当箇所を読み合ってお互いにアドバイスしよう。</p>	<p>■発表に向けて読み方のわからない単語やフレーズは参考になる web サイトも提示しつつ机間指導を実施する。</p>
<p>5 作業の進捗度を入力する。</p>	<p>・次回の発表に向けて各自、担当の英文をすらすら読めるようにしてこよう。</p>	<p>◎練習中にグループのメンバーに対して適切にアドバイスをして、より良い発表にしようとしている。</p>
<p>6 次回の発表順決め</p>		